

流氷初日

1/18(月)
「どさんこワイド179」
1/18(月)18:54更新



「早めに来ました」冬の使者・流氷 オホーツク海に見えた

放送のテレビ番組で網走の沖合、遠くに見えるのはうっすら伸びる白い線。波ではありません。オホーツク海を南下してきた冬の使者、流氷です。

18日正午過ぎ、網走沖40キロの上空でカメラがとらえました。網走地方気象台は17日、流氷を肉眼で観測できる「流氷初日」を迎えたと発表しました。(中略)

網走の「流氷初日」は平年より4日早く、去年と比べると23日早い観測です。

気象台によりますと、流氷が沿岸に達する「接岸初日」を迎えるのは、1月下旬から2月上旬になる見込みだということです。

<https://www.stv.jp/news/stvnews/u3f86t000009smtt.html>

流氷(りゅうひょう)を観測している網走(あばしり)地方気象台の屋上から肉眼で流氷が確認できる最初の日を「流氷初日」といいます。平年より4日早く、去年より23日早い1月17日がそれだそうです。

流氷がやってくると海面からの水蒸気の蒸発が少なくなり雲の発生が少なくなり、晴れ間が多くなり気温が下がりやすくなるそうです。そこで「晴れて寒くなる」と言われています。

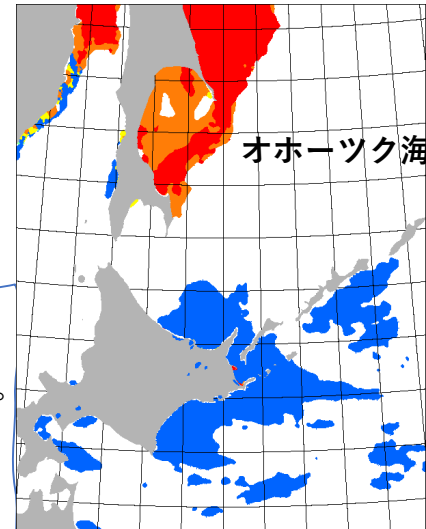
流氷はどこでできるのか?

流氷はどんな役割をしているのか?

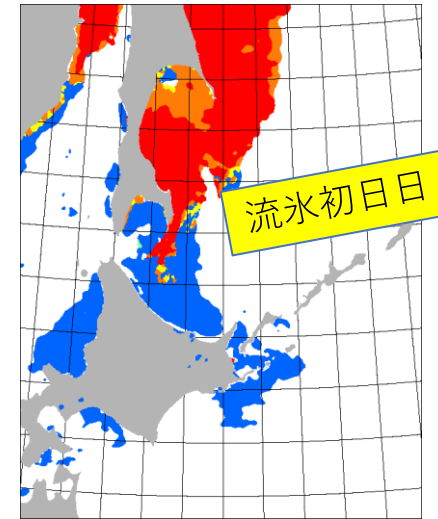
地球温暖化で流氷も変化しているのか?

ひまわりは8は、2.5分毎に日本周辺を観測しているが、他の地球観測衛星のデータはあるのか?

1月9日



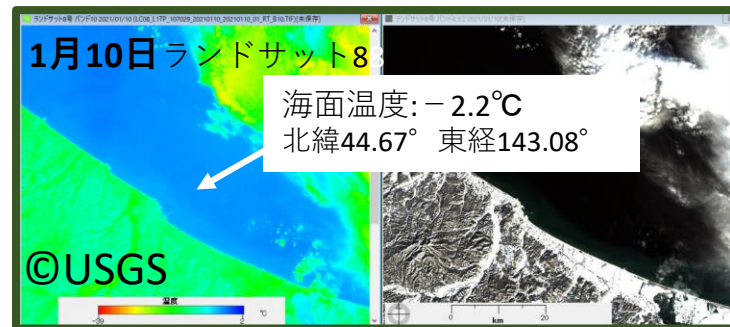
1月17日



海氷密度(10分比)

9~10 7~8 4~6 1~3 海氷なし 雲のため不明

http://www.data.jma.go.jp/gmd/kaiyou/db/seaice/analysis/okhotsk_daily_seaice_condition_chart.html



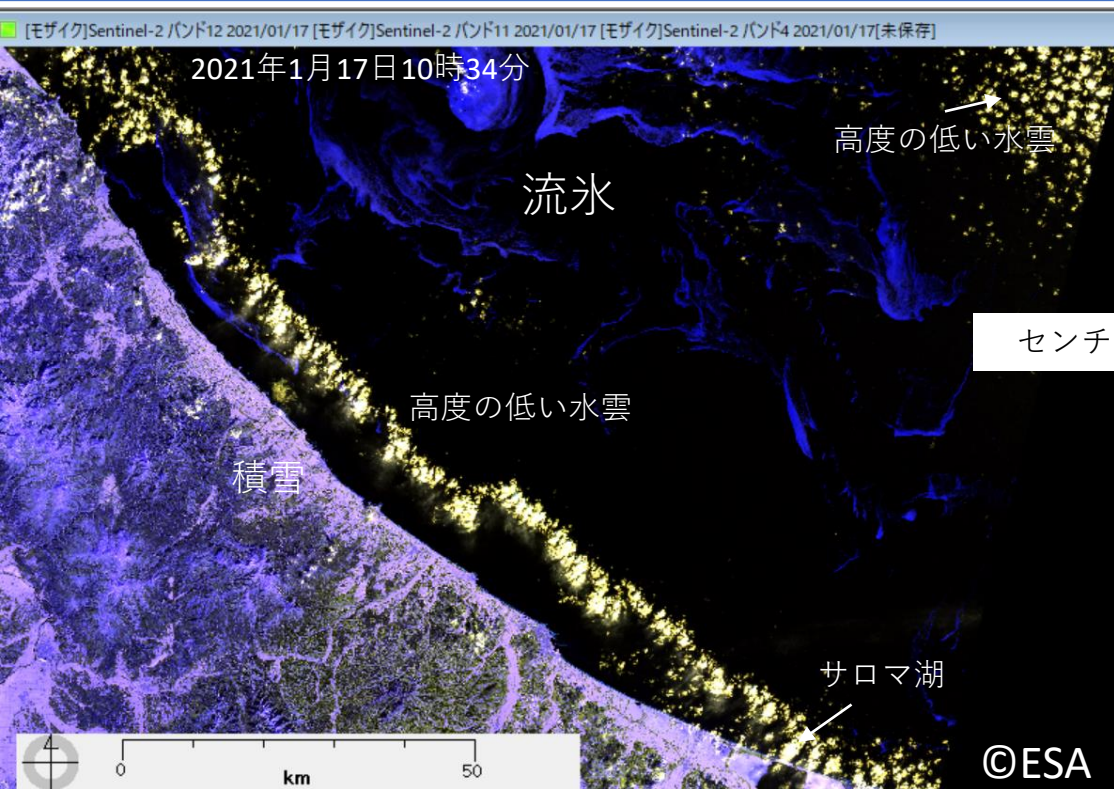
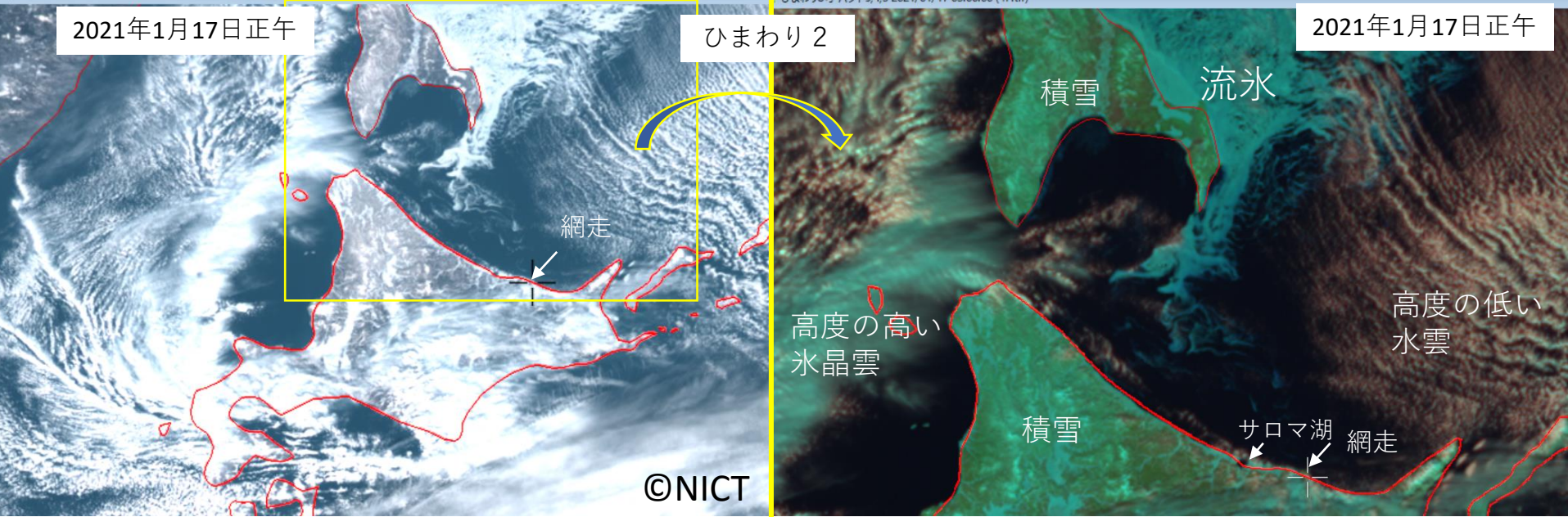
次ページの画像の観測範囲



1月10日
ランドサット8
の14バンドで
温度を測定

氷点下の海水
温度!

今年の流氷初日にセンチネル2の観測がありましたひまわり8より鮮明です。



センチネル2の画像でみると（空間分解能20 m）海岸に近づいている流氷が見分けられる。ひまわり8のナチュラルカラーと色合いが異なっているが、流氷の存在が鮮明にわかる。もうすぐ海岸まで流氷がやってくる。

